

平成29年度 鳥羽志摩中学校春季総合体育大会

野球の部（鳥羽） 要項

1. 期日及び会場

◇ 第1日目

・鳥羽：5月6日（土）・・・鳥羽東中学校（T）

※ 予備日（雨天順延）

・7日（日），13日（土），14日（日），21日（日）・・・鳥羽東中学校（T）

* 春季大会の予備日と、春の県大会の日程が重なるため（13日【土】、14日【日】）、県大会出場校の試合が、13日に行われる場合は、大会を21日（日）に順延する。

* 雨天等により21日（日）までに全日程が実施できなかった場合は、鳥羽志摩中体連本部で判断する。

* 5月20日（土）については、土曜授業のため実施しない。

2. 使用球

* 公認ナガセケンコーB号（1試合につき各校3球提出）

3. 責任者

* 鳥羽：会場責任者（尾上【鳥羽東】）・記録・競技（松本【答志】）・弁当（久米【長岡】）

4. 競技規定及び申し合わせ事項

(1) トーナメント方式とする。組み合わせは別記の通り。

(2) ルールは、2017年度公認野球規則とするが、5.10（b）と5.10（1）は除外する。

※5.10（b）：投手は同一イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許されない。

※5.10（1）：監督またはコーチが、1イニングに同一投手のもとへ2度目に行けば、その投手は自動的に試合から退かなければならない。

(3) 各試合7回戦。得点差によるコールドゲームは3回以降15点差または、5回以降7点差とする。（優勝戦も適用する）

※サスペンデットゲーム（継続試合）を適用するが、日没・降雨等によるコールドゲームは、5イニング以降、イニングの終了時に適用する。

※決定は大会長・理事・専門部・審判団の協議により決定する。（雷などの場合も含む）

(4) 7回を完了して同点の場合は、引き続き特別延長戦を行い、9回を終了して決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。ただし、三重県軟式野球連盟の内規により決勝戦は除く。

※抽選方法は、審判員及び試合終了時に出場していた両チームのメンバーが終了挨拶の状態に整列し、○印、×印各9枚、18枚の封筒を球審が先攻チームより一枚ずつ交互に選ばせる。二人の審判員が両チームの監督立ち合いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。

(5) 抗議は一切認めないが、監督と当該プレーヤーのみ説明を求めることができる。

（コーチは試合中はグラウンドに出てはいけない）

(6) 監督は当該校の教員、コーチは当該校の教職員及び、学校長が認めた継続指導をしているコーチとする。

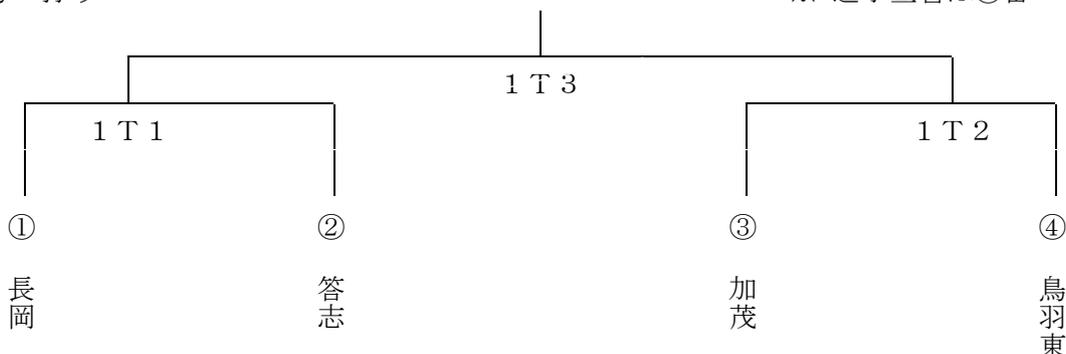
(7) ベンチは若番を1塁側とし、ベンチ入りはスコアラー・マネージャーを含めて22名とする。ただし、本大会はベンチ入りの人数を18名以内とする。ボールボーイは含めない。

- (8) ベンチ入りの顧問は学校関係者3名以内とする。(監督は背番号「30」をつける)
 *選手、監督、コーチは同色、同形、同意匠のユニホームを着用すること。
 *コーチも29、28番を可能であればつけて下さい。
 *背番号については、監督が30番、コーチは29番・28番とする。
- (9) 監督、コーチのベースコーチは認められていない。
- (10) 交代して一度退いた選手は、ウォーミングアップなどのほか、ベースコーチも許される。
- (11) チーム全員ユニホームの左袖に、三重(県名)を必ず入れること。
- (12) 第1試合のメンバー用紙交換、攻守の決定等は、試合開始予定時刻の40分前とし、第2試合以降は前試合終了後とする。(打順表は4部提出すること)
- (13) シートノックは後攻から始めて5分以内とする。(補助員はユニフォーム着用(練習用可)のうえ必ずヘルメットを着用すること)相手チームのノック中は、危険防止のためベンチから出ない。ただし、ブルペンでの投球練習は除く。(捕手は必ずレガース・プロテクター・マスクを着用すること。
 投手が守備練習のためにマウンド付近を使用することを禁止する。
- (14) 捕手は、プロテクター・レガース・捕手用ヘルメット・スロートガード、ファールカップを、打者・次打者・走者・ランナーコーチは、両耳ヘルメットを着用すること。
- (15) 次打者はネクストバッターズサークルに入り、サークル内へは試合で使用できるバット1本しか持ち込めない。
- (16) 金属バット、ハイコンバットは、J S B Bマークの付いた公認のものに限る。
- (17) リング、リストバンド、ハイカットストッキング、エルボーガード等の使用を禁止する。
- (18) マスコットバット、バッドリング、鉄棒、公認球以外のボールなど試合で使用しない物の球場内への持ち込みは禁止する。
- (19) イニングの交代時には、ボールを投手板上に置くこと。(雨天の場合を除く)
- (20) 表彰については、1位1校とする。
- (21) 人権を無視したり、相手を傷つけるような応援は絶対にしない。また、メガホンについては、ベンチに1個持ち込むことができる。
- (22) 投手の投球制限については、1日7イニングまでとする。ただし特別延長戦の直前のイニングを投げきった投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。(ただし、決勝戦に投げる投手の投球制限を設けない)
 投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては3分の1回(アウト1つ)未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。ダブルヘッダーの場合は、メンバー用紙交換時に必ず投手(前の試合に登板した全ての投手)の投球イニングを報告する。
 *その他詳細については、各校に配布してある「2014年競技者必携改正に伴う解釈」適用する。

5. 組み合わせ

[鳥羽]

※ 選手宣誓は①番



6. 試合開始時刻

○ 第1日目 【※ 開会式・・・8:30～】

*鳥羽 第1試合…9:00 第2試合…11:00頃 第3試合…第2試合終了後40分後

7. 審判

○ 第1日目

1T1 (③・④)

1T2 (①・②)

1T3 (1T1敗・1T2敗)

※ 審判の足りない部分は外部審判に入ってください。

8. その他

- (1) 開会式は全校が参加し、8時30分から行う。
- (2) 各会場とも毎日のゴミ処理とグラウンド整備は、最終チームが必ず担当して下さい。
- (3) 審判は試合の30分前には集合し、準備にあたって下さい。
- (4) **離島の生徒が6時55分の定期船に乗船できない場合は順延とする。(6時30分くらいの決定になりますので各校待機等の準備をお願いします)**
- (5) 手首を固定するサポーター等の使用は、医療目的なら可。ただし、相手チームの了解を得ること。
単に固定目的なら不可。
- (6) 第二試合目の学校の先発投手は、前の試合の4回終了後、グラウンド内のブルペンでの投球練習ができる。ただし、試合中の学校の使用を優先する。投球練習の際は、スパイクを履くこと。
捕手は、試合と同じ防具を着けて捕球すること。
- (7) 一年生が、グラウンドに入るときはユニフォーム(練習用でも可)を着用すること。
ベンチに入る場合は、同一の試合用のユニフォームを着用すること。
- (8) 試合開始時刻は、天候やグラウンド状況等などの諸事情により、早まることもあります。